

【復興庁 吉野正芳大臣 ご一行 視察】

平成29年11月26日(日)、復興庁吉野正芳復興大臣、加藤久喜統括官、斎藤貞亘理町長ご一行が亘理町中央公民館において開催中の「傾聴ボランティア養成講座」2日目を視察されました。

当会として、東日本大震災被災地の亘理町で初めて開催している「傾聴ボランティア養成講座」にご訪問いただき、大変感慨深いものがあります。

吉野大臣との懇談で、大臣は「私も福島県被災地の出身で、今になって津波の映像を見るのが辛くなりました。これからの復興はソフト面、心のケアなどに重点に置いていきます。」と傾聴の必要性についてお話されました。森山代表からは当会のこれまでの活動状況(発足から被災者支援の経緯・人材育成)について説明を行いました。

また大臣から、「傾聴にはスキルが必要ですか?」、「心のとびらを開けるにはどうするんですか?」、「茶話会に参加しない人の対応はどうされていますか?」等の質問をされ、当会理事から丁寧に説明し、ご理解を頂きました。懇談は大臣の気さくなお人柄もあって終始穏やかな雰囲気で行われました。





受講生から拍手で
迎えられ
ご挨拶される吉野大臣

懇談終了後、吉野復興大臣は、受講生と一緒にロールプレイを体験されました。被災者の悲しい話に、自らが被災者でもあり、こころから寄り添い耳を傾けていらっしゃいましたが、余りにその気持ちが強すぎ、何とかしてあげたいと思われたのか、自分の被災体験を話される場面もあり、傾聴の難しさを感じられたようです。ロールプレイ体験後は、受講生一人ひとりに声を掛け、笑いに包まれることもあり和やかな雰囲気でした。



講座を受講された参加者はじめ当会スタッフは、思いがけない大臣の視察に大変緊張しましたが、まことにありがたく、温かい励ましのお言葉を賜り、大いに励みになりました。お忙しい視察の中、当会活動にわざわざお運びいただいた荣誉に心より感謝申し上げます。